

氏名： 海野 るみ (UMINO Rumi)
所属： 国際教育センター
学位： 文学修士 (教育学) / M.A.
職名： 講師
専門分野： 文化人類学、アフリカ研究、民族音楽学
E-mail： umino.rumi@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

文化人類学 / 南部アフリカ / 先住民 / 知の多様性
cultural anthropology / southern Africa / indigenous people / diversity of knowledge

◆主要業績

総数 (5) 件

- ・「〈歴史〉を営む—南アフリカのグリクワ独立教会における〈歴史〉の共有」、阿部年晴、小田亮、近藤英俊編『呪術化するモダニティ—現代アフリカの宗教的実践から』(風響社、2007年)
- ・「コイコイ—変化と多様性を生き抜く」、綾部恒雄監修、福井勝義、竹沢尚一郎、宮脇幸生編『講座世界の先住民族—ファースト・ピープルズの現在 05 サハラ以南アフリカ』(明石書店、2007年)

◆研究内容 / Research Pursuits

現代社会で流通する知 (や技法) は多様な様態を表に見せながら、どれもがそれぞれの合理性 (または説明可能性) を内包している。南部アフリカの先住民を事例とし、彼らの知の様態の個別性と、知の内包する合理性 / 説明可能性を追究する。

Knowledge circulated in the modern world has various facets, and each facet subsumes rationality to explain its own logic. In the study of indigenous people in southern Africa, I attempt to reveal the particularity of and rationality of their knowledge.

◆教育内容 / Educational Pursuits

本学の国際交流教育活動のうち、主に海外の大学との学生交流支援、ならびに大学間協定の策定、新規プログラム開発を行っている。

My missions are (i) operation and supports for student exchange in any extent, (ii) development, promotion and operation of partnership with overseas institutions, and (iii) programme development for internationalisation of Ochanomizu University.

◆研究計画

今後も、人類学的な方法論から知の多様性についての研究を進めていく。これまで取り上げてきた南部アメリカの先住民の事例のほかに、フィールドワークの範囲を広げ、「歴史」や「地域」などの諸概念についての検討を行う。同時に複数の事例をもとに、多様な知のあいだに見られる共通性も追究していきたい。

◆メッセージ

お茶大「育ち」の研究者として、お茶大の良さを言うのであれば「大きくないこと」だと思います。このキャンパスを足場にして、国内の他大学や研究機関、さらには海外にまで、新たな刺激を求めにいくことが大いに許される環境です。沢山の「他流試合」をしながら、その成果を持ち帰り静かに研究し仲間と議論する—そういう大学を一緒に作ってみませんか？